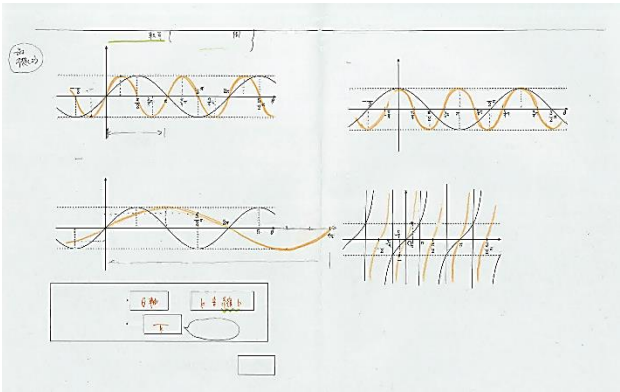


(別紙様式) 令和4年度 1人1台端末の活用による実践事例

学 校 名		岡山県立岡山工業高等学校	
実践者等		高木 啓輔	実践日 令和4年9月26日
実践場面 (教科・科目(単元名)、学校行事等)		数学Ⅱ(三角関数)	
対象生徒(学年等)		2年生	
育成を目指す資質・能力		□知識・技能 ■思考力・判断力・表現力等 ■学びに向かう力・人間性等	
分類	授 業 中	■クラウドやアプリの活用 □デジタルデータの保存 □思考やデータの可視化	
		□データの共有や共同編集 ■対話を充実させる活用 ■思考を促す活用	
		■表現を充実させる活用 ■課題のやり取りと評価の支援 □効率化や省力化 □その他()	
家庭学習		■振り返り □探究 □反転学習 ■補習・定着	
実践の内容			
【授業】 テーマ：三角関数のグラフを考える (1) 前回の授業の振り返りを全体で共有する。(Google Formsで振り返り項目を作成している。) (2) $y=\sin\theta$ のグラフ上の点がどのように動くのかアニメーションを使って確認する。 (「https://grapes-light.app/app」を活用し、θ の値を変えるとどのようなグラフの動きになるか確認できる。) (3) $y=\sin\theta$ のグラフがどのようなようになるのかを踏まえ、$y=\sin 2\theta$ のグラフをグループで予想する。 (4) 応用問題の練習をおこなう。 (5) 授業後には解答・解説を記載したワークシートをGoogle Classroomで配信する。 (6) 授業後には、Google Formsで振り返りをおこなう。 授業後の振り返りでは、自分なりの発見や解き方の言語化、三角関数と工業科目との関連、グループワークでどのような話し合いをおこなったか、分からなかった部分などを記入している。次の授業で、振り返りの内容をクラス全員で共有する。  解答・解説の記載したワークシート 解答や解説を記載したものを授業後にClassroomで配信している。授業内での教員の解説は最小限にし、生徒同士の学び合いの時間を確保している。また、その授業を欠席しても学習ができるようにしている。			
【本時と家庭学習との連動】 授業内で振り返りをする時間がなかった場合は、次の授業までに振り返りを入力する。分からなかったことがあると記入があった場合、全体に解き方をもう一度説明する。			